



紙工作に取り組んでいます！

初めまして。『ほっと・氷川台デイサービスセンター』に8月に入社しました、石川抄和子と申します。子育てが落ち着き、今後の人生を有意義に過ごしたいと思い、以前から興味があった介護の世界に飛び込みました。

それまでは、パソコンと向き合っていたのですが、ご利用者様と向き合うことで、世界がガラリと変わりました。笑顔でいることが多く、笑いじわも増えました。



就業前に、介護職員初任者研修にて基礎知識を習得しましたが、実際の現場では、経験する程に多くの課題が見えてきます。人間力の高い先輩スタッフの支援を受けながら、勉強の日々を送っています。今後は経験を積み、介護福祉実務者研修・ケアマネジャー等の資格取得も目指し、スキルアップしていきたいと思っています。

仕事を離れると、ペットと触れ合ったり、スポーツ観戦やアクセサリー作りで気分転換をしています。

介護の現場では、様々な経験が活かされます。人生経験を増やし、コミュニケーション能力も高めていきたいと思えます。

人生の先輩であるご利用者様がより一層豊かな人生を過ごされるよう、努めて参ります。

どうぞよろしくお願いいたします。

介護スタッフ 石川抄和子

ようこそ🍀おしゃべり電話



070-4117-8848

毎週土曜日午前 10時～12時



コロナで不安な毎日ですね。

誰かと話したい。話を聞いてもらいたい。誰かと繋がりたい。
そんな気持ちがおありでしたら、電話でおしゃべりしませんか

平成 28 年から練馬区内で活動している傾聴ボランティアが、
高齢者の方や介護をなさっている方のお話し相手をさせていただきます。

主催：傾聴ボランティアこだまの会（氷川台3丁目カフェを運営しています）

ほっと・ハウス・豊玉 だより 11月

紙工作に取り組んでいます！

折紙、広告紙などを利用し、個性的な草花やそれぞれの季節に合ったものを題材にして、利用者さまと心のこもった紙工作を作成しています。心理的に安定した状態を保ちつつ、楽しく参加出来ているのか、個々の能力が発揮できているのか、作品完成に喜びを持ってもらえているのか？そんな思いを持ちつつ、いろいろな作品に取り組んでいます。



お月見

コロナ禍のなか、カフェづくりがうまくいかず、和歌山から帰って、氷川台のカフェで楽しく麻雀しています。麻雀の先生にズケズケ叱られるのが、なんと楽しいこと！！やっぱり慣れ親しんだここがいい。そんな折り折り、幼な友だちが「お月見」に呼んでくれました。

お団子に、さといも、ススキに萩、お供えをしてご馳走をいただくと、月が出てきてお〜下界を照らしてくれます。おつきさまにささげる演奏は、古楽器のプサルタリー。美しい響きにギターが伴奏して「ライムライト」

ここで友が一句読めと、短冊を配ります。あれ〜どうしようとのままに。友がぴったりと、唱和してくれました。

帰りきて 友の心に 涙して ツキが戻った 陽子ちゃんかな
友のため 雲を蹴散らす フルムーン プサルタリーと 虫の音の夜

小川 陽子

氷川台3丁目カフェ

— 麻雀からおしゃべりまで —

認知症予防に麻雀、花札などしています、介護家族の方も一息つきにどうぞ

- 日時：毎月第1・第3土曜日、午後1時半から4時のご都合のよいときにどうぞ
 - 場所：ほっと・氷川台デイサービスセンター（氷川台3-19-7井垣ビル）氷川台駅2番出口徒歩5分
 - 参加費：200円（会場費・お茶代） ※中止の場合があります。ご連絡ください。
- 連絡先：寺田和子 090-8772-9157（麻雀ご希望の方は2、3日前にご予約を！）

トピックス

虐待防止に取り組む！その2

虐待防止策は進化している！ ⇒ 考えるケアに！

先日、身体拘束廃止職員研修「身体拘束せずに事故を防ぐ方法—身体拘束につながる不適切なケアをなくす取組—」を弊社各事業所の虐待委員がZOOMで受講しました。

事例の一つとして1日中ウロウロする利用者に対し、なぜ居室に居たくないのか？を考えることが必要とし、成功事例として、「自宅で暮らしていた時の愛用品や身の回りの品々で埋め尽くしたら落ち着いた」事例をあげています。

また、他の利用者への暴力をふるう事例では、抗精神病薬で処方することは身体拘束容認施設となるとし、何か好きな物を探すことを求めています。成功事例として、将棋が好きなことが分かり、1日中将棋盤に向かい、安定している事例をあげています。

このように、常に「考えるケア」をしていない施設は身体拘束容認施設⇒虐待容認施設になってしまうということです。成功事例が発表されていましたが、それで、長期的な解決策とはなりません。利用者のことを常に考える施設が望まれています。虐待防止策は進化しています。私たちも、意識して行かなければならないと強く感じた研修でした。

この情報はASA平和台のご協力を頂いています。

ほっと・すぺーす だより

vol.183



定員24名

ほっと・ハウス・豊玉

デイサービスセンター

住宅型有料老人ホーム

☎ 5946-4310

定員20名

ほっと・ハウス・仲町

都市型ケアハウス

60歳以上の自立者入居施設

☎ 3932-1123

ほっと・氷川台

ケアプランサービス

居宅支援事業所(ケアマネ4名)

☎ 5921-3190



定員14名

ほっと・氷川台

デイサービスセンター

☎ 5922-6577

定員20名

ほっと・ハウス・今神

都市型ケアハウス

60歳以上の自立者入居施設

☎ 6906-7670

ほっと・ライフサービス

福祉用具レンタル・販売・住居改修

☎ 6906-9171

一気に寒くなってきました！

11月の旧暦名は霜月。寒さを迎える季節です。最近の日本の天候は四季ではなく、夏と冬しかないように感じます。これも温暖化現象でしょうか？ゆっくりと四季を味わいたいものです。コロナ感染者は劇的に減少していますが、油断せず、行きましょう！

現在のほっと・ハウス・今神では・・・

ほっと・ハウス・今神に、2021年5月より入職しました加藤です。今神も、2020年12月にオープンしてから11ヵ月目になりました。コロナ禍での生活も大きく変化し、マスク生活にも慣れてきた頃ではないでしょうか？コロナワクチン接種も5月に実施され、感染症対策をしながらの毎日ですが、皆様が快適に居心地よく暮らせるようにと、心掛けています。

三密を避けるため、イベント中止を余儀なくされてきましたが、“カラオケがやりたい”とのご要望を受け、音楽鑑賞と形を変え、楽しんで頂いています。

9月からは、映画鑑賞会の日を設け、開催しております。自由参加の形で行っていますので、途中退席もOKです。皆様が“楽しかった”と思って頂けるような一時を考案していきたいと思っています。

まだまだ、未熟ですが皆様から教わることも多く、日々学ばせて頂いております。

和気あいあいと笑って過ごせるように、お手伝いが出来れば幸いです。

どうぞ宜しくお願い致します。

ほっと・ハウス・今神 加藤 順子